

ROYAL

カメラ付 LED 防犯灯 H-LSL2C

取扱説明書

この説明書をよくお読みになり、正しく設定した後、お使いください。
本書は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

© 2023 Hamai Electric Lamp Co., Ltd.

目次

安全のために

安全に関するご注意 3

使用上のご注意 3

各部の名称

本体の操作

起動方法 5

状態表示インジケータ表示パターン 5

マイクロ SD カード取り出し方法 6

録画ファイルについて 7

◆録画ファイル生成 7

◆録画ファイルのダウンロードと再生 7

同梱品 7

基本的な使い方

RLIoT アプリケーションについて 8

設置時の設定 9

マイクロ SD カードについて 10

Windows アプリケーションの設定

アプリケーションの動作環境 11

アプリケーションのインストール 11

アンインストールの手順 14

動作環境の設定 15

■ポートの開放設定 15

■時刻自動設定の有効化 20

Manager アプリケーションの使い方 22

起動方法 22

メイン画面 23

メイン画面の操作手順 24

メンテナンス画面 25

録画ファイルダウンロード画面 26

Viewer アプリケーションの使い方 27

メイン画面 27

録画データ保存画面 28

暗号化設定変更画面 29

Updater アプリケーションの使い方 30

メイン画面 30

カメラを工場出荷状態に戻すには 31

その他

設定メモ 31

故障かな?と思ったら 32

安全のために

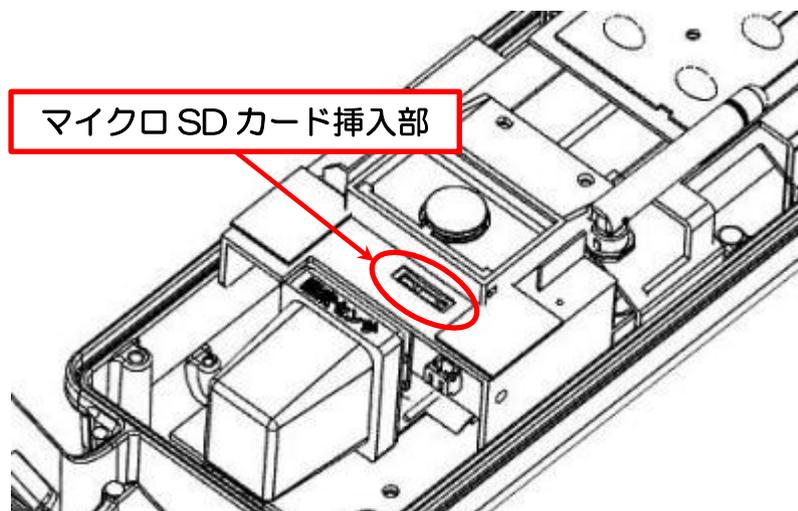
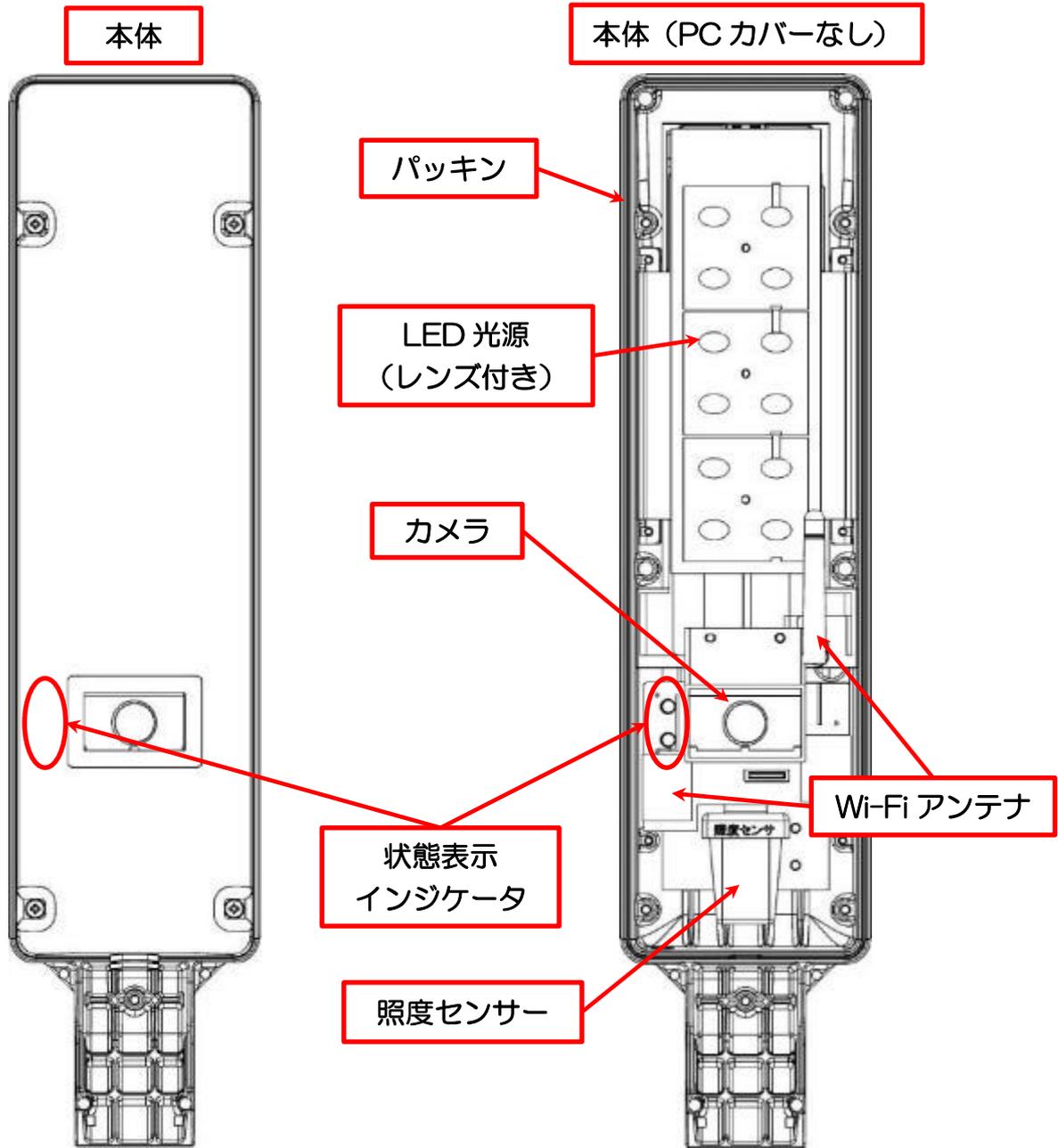
安全に関するご注意

- 一般屋外用器具です。
- 点灯に異常を感じたときは、速やかに電源を切り、工事店にご相談ください。
- 近距離から LED 光源部を直視しないでください。目を傷める恐れがあります。
- 振動や衝撃が多い場所、湿気の多い場所には使用しないでください。
絶縁不良による、感電、火災の原因になります。
- 下方向照射専用器具です。指定外取付の場合、落下の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には使用しないでください。つららができることがある場合は、つららの除去を行ってください。
怪我の原因になります。
- 器具重量に耐える箇所に確実に取付けてください。
合板やベニヤ板などの柔らかい木材には取り付けしないでください。落下の原因になります。
- 誤って落下させた場合、外観異常が見られなくても使用はお控えください。
故障の原因になります。

使用上のご注意

- 日本国内専用です。
- 外観などの仕様は、予告なく変更することがあります。
- 無線 LAN による通信は、周囲の電波の状況や設置環境、距離などの影響により、接続が切断されたりダウンロードできない場合があります。その場合は、カメラの近くに寄って再接続してください。
- 本製品の誤操作や不具合など、何らかの原因で録画データが消去または破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修または補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- LED 光源にはバラツキがあるため、発光色・明るさが異なる場合があります。
- 特殊環境や塩害地域、密閉空間に設置しないでください。
- 自動点滅器が内蔵されております。
 - ・昼間でも暗い場所(木かげやひさしの下など)に取付けると早く点灯、遅く消灯することがありますが、異常ではありません。
 - ・夜間でも明るい場所(隣地や街路照明など)への取付けは点灯しないことがありますので、お避けください。
- 自動点滅器の誤作動防止のため、照射物までの距離を 1m 以上確保してください。

各部の名称



本体の操作

起動方法

電源を入れると※LEDが点灯して自動でカメラが起動します。(カメラ起動まで約40秒)しばらくすると緑インジケータが点灯し、自動で録画が開始されます。

※照度センサーにより、明るい場所で電源を入れるとLEDが点灯しない場合があります。周囲を暗くして、しばらくお待ちいただくとLEDが点灯します。

状態表示インジケータ表示パターン

本製品に搭載されている状態表示インジケータの表示パターンにより、離れていても本製品の状態を確認することができます。以下の表を参考に、状態を確認してください。

・起動時

| 順番 | インジケータ 緑 | インジケータ 赤 | 本製品の状態 |
|----|---------------|-------------|---|
| ① | 点灯 | 消灯 | 電源 ON から約40秒間は起動中のため、緑点灯となります。 |
| ② | 点滅 (1秒に2回) | 消灯 | カメラ起動中です。 |
| ③ | 点灯 | 消灯 | 起動が完了し、録画を開始します。 正常動作中、通常時も緑点灯になります。 |

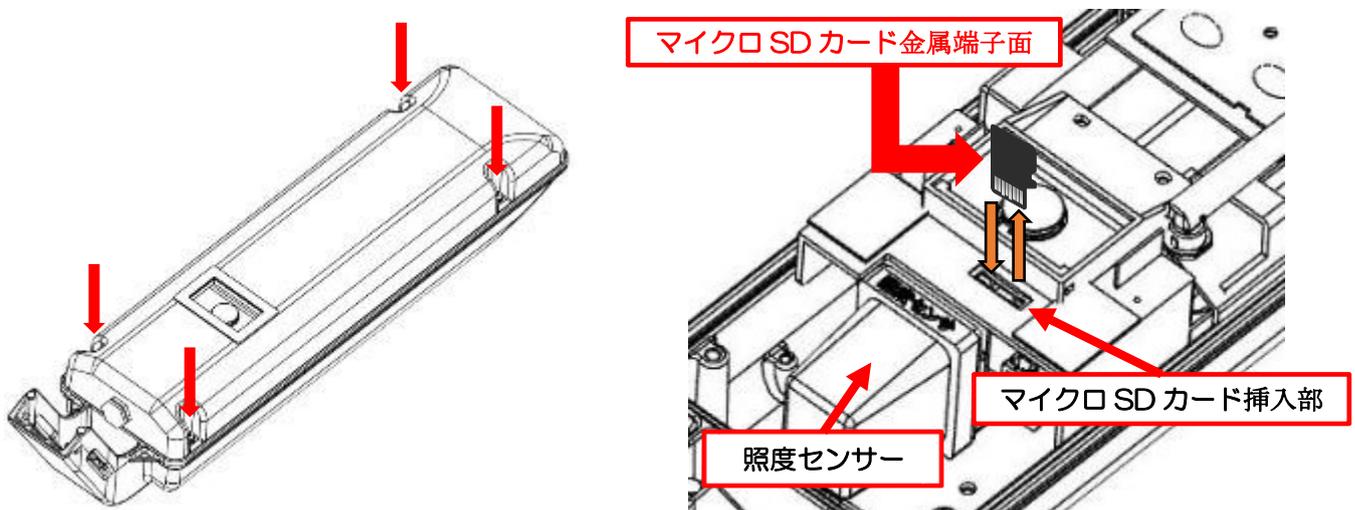
・その他、動作パターン

| インジケータ 緑 | インジケータ 赤 | 本製品の状態 |
|---------------|---------------|---|
| 点滅 (1秒に1回) | 消灯 | Manager アプリケーションでライブストリーミング映像を送信しているカメラは緑点滅状態になります。 |
| 消灯 | 点灯 | エラー状態です。マイクロSDカードが挿入されているか、録画ファイル以外のファイルで一杯になっていないか確認をお願いします。 |
| 消灯 | 点滅 (1秒に1回) | カメラ部とCPU間で通信エラーが発生しました。 電源を切入して確認をお願いします。 |
| 消灯 | 点滅 (4秒に1回) | 内蔵時計の時刻が設定されていません。Manager アプリケーションで時刻設定してください。 |
| 消灯 | 点滅 (1秒に2回) | マイクロSDカードは装着されているか、 マイクロSDカードはフォーマットされているか、 確認をお願いします。 |

マイクロSDカード取り出し方法

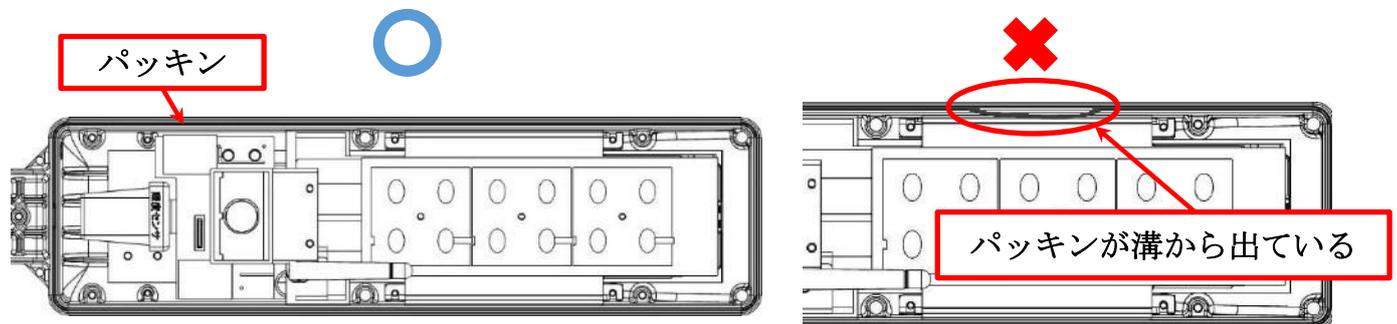
マイクロSDカードを取り出したい場合は、本製品の電源が入っていないことを確認してから、以下の手順で作業を行ってください。

- ①本体のPCカバー4か所のネジを外してください。
- ②PCカバーを外してください。**(ネジの脱落注意)**
- ③マイクロSDカード挿入部のマイクロSDカードを軽く押し込むことで、取り出し可能になります。
- ④マイクロSDカードを挿入する際は、マイクロSDカードの向きに注意して、挿入部へマイクロSDカードをカチッと鳴るまで押し込んでください。
(マイクロSDカードの金属端子面が照度センサー側を向くように挿入)

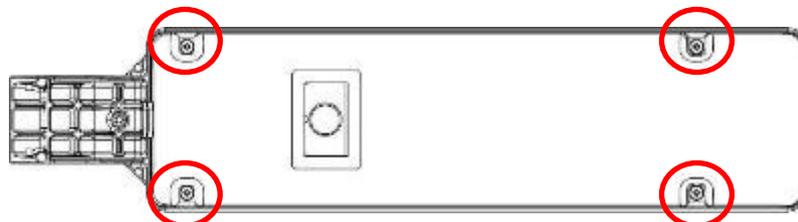


• PCカバー取り付けの注意点

作業後にPCカバーを閉めるときは、筐体溝のパッキンの状態に注意してPCカバーを閉めてください。筐体溝にパッキンが全て収まっている状態が正常です。



最後にPCカバーの4か所のネジをしっかりと締め付けてください。(推奨トルク値 0.8N・m)



録画ファイルについて

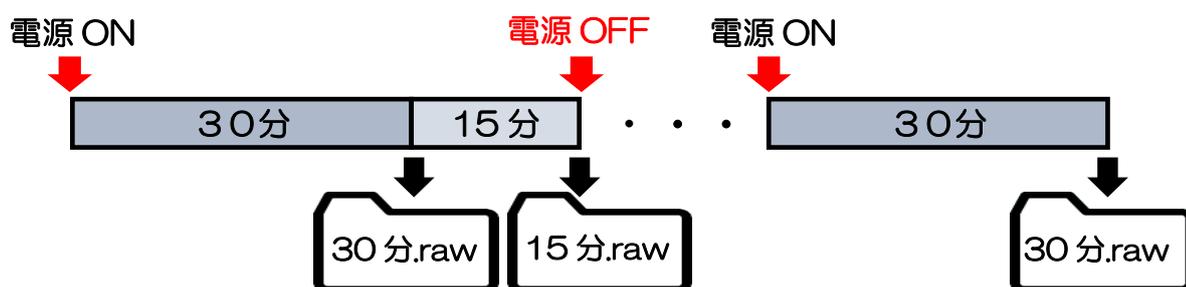
付属のマイクロ SD カード（128GB）で約 10 日の録画保持が可能です。
容量がいっぱいになると古い順に自動で上書きされますので、10 日以降も録画を続けます。
古い録画から消去されていきますので、保管が必要な録画ファイルは、ダウンロードして、別の記録媒体で管理をお願いします。

より大容量のマイクロ SD カードに交換することで、録画保持期間を延ばすことも出来ます。
→詳細は[マイクロ SD カードについて \(P10\)](#) をご確認ください。

◆録画ファイル生成

電源 ON で録画が開始され、電源 OFF にするまで録画・ファイル生成を続けます。

録画ファイルは 30 分毎に 30 分間の録画ファイル(.raw)が生成されます。約 250MB
録画中に電源が OFF になった場合、30 分未満の録画ファイルが生成されます。



◆録画ファイルのダウンロードと再生

録画ファイルのダウンロード、及び再生には専用アプリケーションが必要です。
→本説明書の内容をご確認の上、ダウンロードとインストールを完了してください。

録画ファイルのダウンロード・・・[Manager アプリケーションの使い方 \(P22\)](#)
録画ファイルの再生・・・[Viewer アプリケーションの使い方 \(P27\)](#)

同梱品

本体
マイクロ SD カード 128GB （本体挿入済み）
取扱説明書（本書）、施工説明書、商品保証書

基本的な使い方

RLIoT アプリケーションについて

本機の操作に使用する RLiOT アプリケーションは下記の3つがあります。
本機に同梱されている「RLIoT-Camera Web サポートページのお知らせ」に記載されている URL からアプリケーションをダウンロードして Windows10 PC または Windows タブレットにインストールしてご使用ください。

RLIoT アプリケーションは、Windows10 のモバイルホットスポット機能を使用して、PC がアクセスポイントとなってカメラと無線 LAN で接続します。

OS は、モバイルホットスポット機能が対応されたバージョン 1607 以降を使用してください。

OS が以前のバージョンの場合はアップデートしてください。

(ご注意) モバイルホットスポット機能で同時にリスト表示できるカメラは、最大8台までになります。

■ RLiOT Manager アプリケーション

カメラと接続して、カメラ個別に時刻合わせや暗号化設定変更、マイクロ SD カードのフォーマットなどができます。

また、ライブストリーミング映像の確認、録画ファイルのダウンロードができます。

■ RLiOT Viewer アプリケーション

ダウンロードした録画ファイルの再生確認、録画ファイルの暗号を復号化して MP4 ファイルに変換することができます。

また、カメラ録画に使用する暗号設定ファイルを生成・インポート・エクスポートすることができます。

■ RLiOT Updater アプリケーション

カメラのファームウェアをアップデートすることができます。

また、カメラの機器名、SSID/パスワードを初期化することができます

設置時の設定

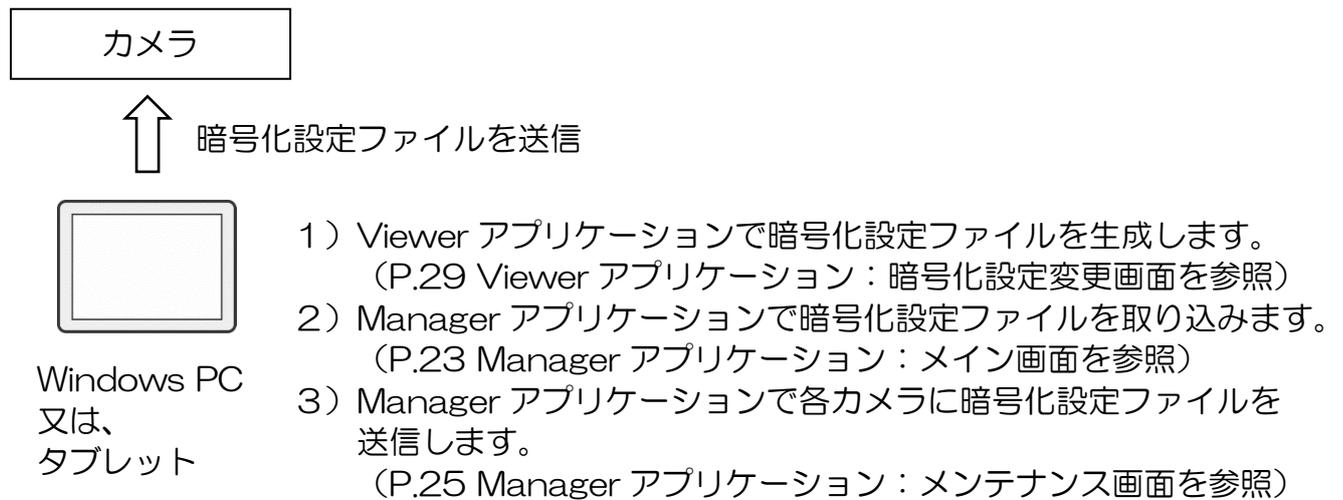
RLIoT アプリケーションとカメラは、工場出荷状態の SSID/パスワードのままをご使用されますと、第三者に無線 LAN 接続されて設定を変更される可能性があります。

設置時に SSID/パスワードを変更することを強くお勧めします。

(変更方法は、P.25 Manager アプリケーション：メンテナンス画面を参照)

また、カメラの録画は、事前に設定した暗号化設定ファイルで暗号化されて、内蔵のマイクロ SD カードに記録されます。

工場出荷状態のままをご使用されますと、第三者に録画ファイルが閲覧される可能性がありますので、設置時に下記の手順で暗号化設定を変更することを強くお勧めします。



1. Windows10 PC または Windows タブレットにインストールした RLiOT Viewer アプリケーションの「暗号化設定変更」ボタンを押して、「初期化ベクトル」と「暗号化キー設定」を設定します。
2. RLiOT Viewer アプリケーションで「暗号化設定エクスポート」を押して、暗号化設定ファイル (AES.dat) を生成します。
3. Windows10 PC または Windows タブレットにインストールした RLiOT Manager アプリケーションの「暗号化設定ファイルインポート」ボタンを押して、暗号化設定ファイル (AES.dat) を取り込みます。
4. RLiOT Manager アプリケーションのメンテナンス画面から、「暗号化設定変更」ボタンを押して、各カメラに暗号化設定ファイルを送信します。カメラが複数ある場合は、1台ずつ送信を行ってください。

Windows アプリケーションの設定

アプリケーションの動作環境

本機のアプリケーションは、下記の動作環境でご使用いただけます。

| | |
|-----|--|
| CPU | 第7世代インテル® Core™i5 以上 |
| メモリ | 8GB RAM 以上 |
| OS | Windows 10 Pro/Home 64 ビット バージョン 1607 以降 |

(ご注意) 本アプリケーションは、Windows10 のモバイルホットスポット機能を使用しています。OS はモバイルホットスポット機能が対応されたバージョン 1607 以降を使用してください。OS が以前のバージョンの場合は、アップデートしてください。

(ご注意) 本システムは、上記動作環境に合わせて設定を行っています。上記と異なる動作環境で各アプリケーションを動作させた場合にエラーメッセージが表示される可能性があります。

また、表示画面は横長表示しますので、画面回転表示には対応しておりません。

(ご注意) 各アプリケーションが起動した状態で PC が休止状態となりますと、アクセスポイント機能が停止します。この状態ではカメラと各アプリケーションはネットワーク接続できません。PC が休止状態から通常の状態に戻った際には、アクセスポイント設定画面から、再度アクセスポイント設定を行ってください。

アプリケーションのインストール

1. 「RLioTManagerInstaller.zip」ファイルを任意のディレクトリに解凍してください。
2. 解凍した「RLioTManagerInstaller」フォルダの「setup.exe」をダブルクリックしてください。



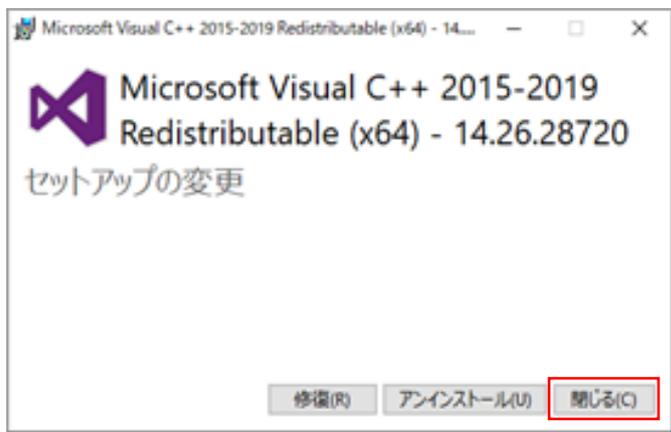
(ご注意) ユーザーアカウント制御で管理者としての実行を求められる場合があります。その場合は、管理者として実行してください。

3. アプリケーションインストールの前に、「Visual Studio 2013 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ」および「Visual Studio 2015 - 2019 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ」のインストールが行われます。

表示された手順に従ってインストールしてください。

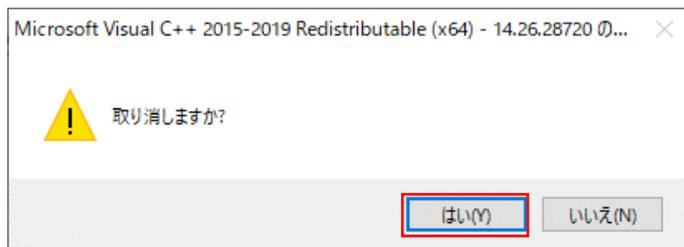
(各パッケージが既にインストールされている場合には、インストールは行われません。) 各パッケージのインストール完了後、再起動が必要となります。再起動後、自動で「setup.exe」が実行されます。実行されない場合には、再度「setup.exe」をダブルクリックしてください。インストーラの開始画面が表示されます。

※「Visual Studio 2015 - 2019 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ」が既にインストールされている場合、下記のメッセージが表示される場合があります。既に再頒布パッケージはインストールされていますので、「閉じる」ボタンをクリックして、再頒布パッケージの変更処理を中断してください。



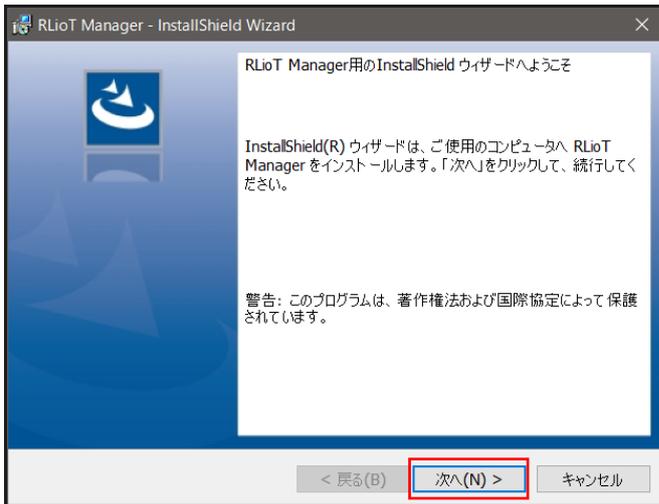
「閉じる」ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。

「はい」ボタンをクリックしてください。

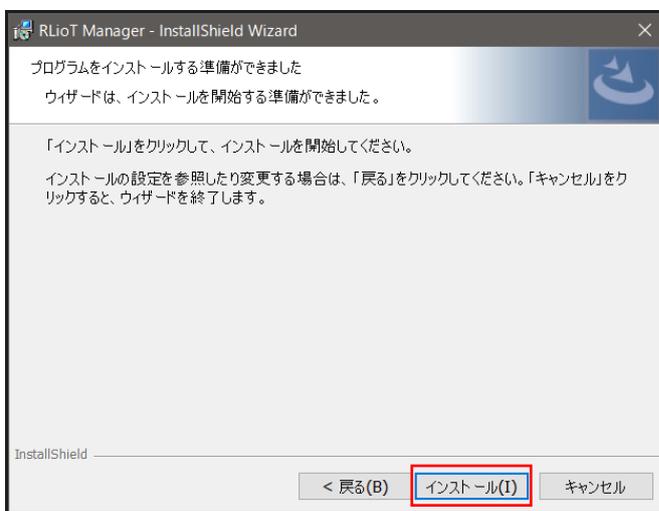


メッセージは x64 向け、x86 向けの 2 回表示される場合がありますので、いずれも同様に「閉じる」ボタンをクリックし、再頒布パッケージの変更処理を中断してください。変更処理中断後、アプリケーションインストール処理が実行されます。

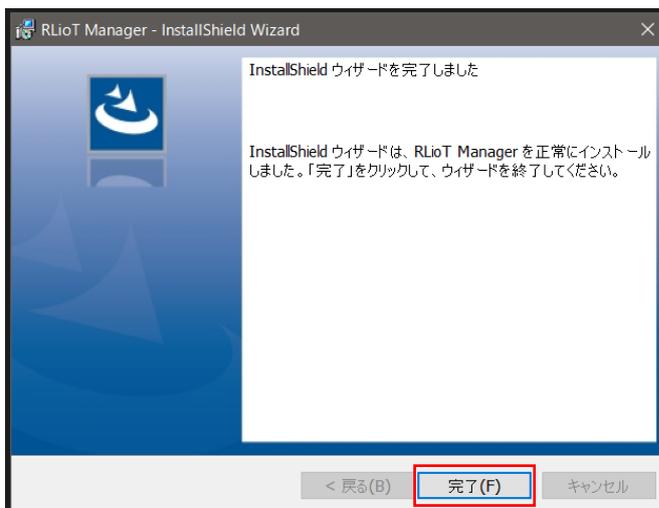
4. インストーラの開始画面が表示されましたら、「次へ」ボタンをクリックしてください。



5. 「インストール」ボタンをクリックしてください。



6. 完了画面が表示されましたら、インストール完了です。「完了」ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



7. 続けて、同様の手順で、「RLiOTViewerInstaller」、「RLiOTUpdaterInstaller」のインストールを行ってください。

アンインストールの手順

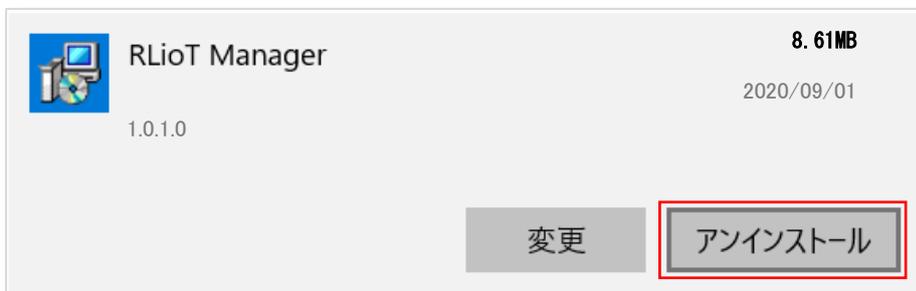
1. Windows ボタンクリック時に表示される「設定」をクリックしてください。



2. Windows の設定画面が表示されますので、「アプリ」をクリックしてください。



3. アプリと機能画面が表示されますので、「RLIoT Manager」を選択し、アンインストールをクリックしてください。
以降は、表示されるガイドメッセージに従って進めていただければ、アンインストールできます。



4. 続けて、同様の手順で、「RLIoT Viewer」、「RLIoT Updater」もアンインストールできます。

動作環境の設定

■ ポートの開放設定

続いて、PC のポートの開放を行ってください。

開放が必要なポート番号は「UDP : 1700」、「UDP : 123」、TCP : 9999」の3つです。

1. Windows ボタンを右クリックし、検索から「コントロールパネル」と入力して、検索結果として表示される「コントロールパネル」をクリックして起動してください。



2. 表示方法をカテゴリにして、「システムとセキュリティ」を選択してください。



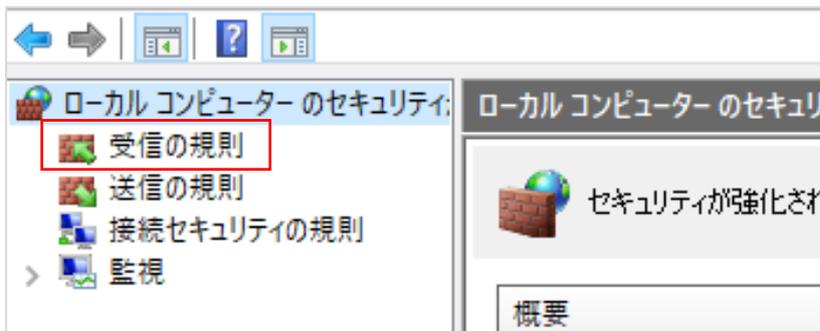
3. 「Windows Defender ファイアウォール」を選択してください。



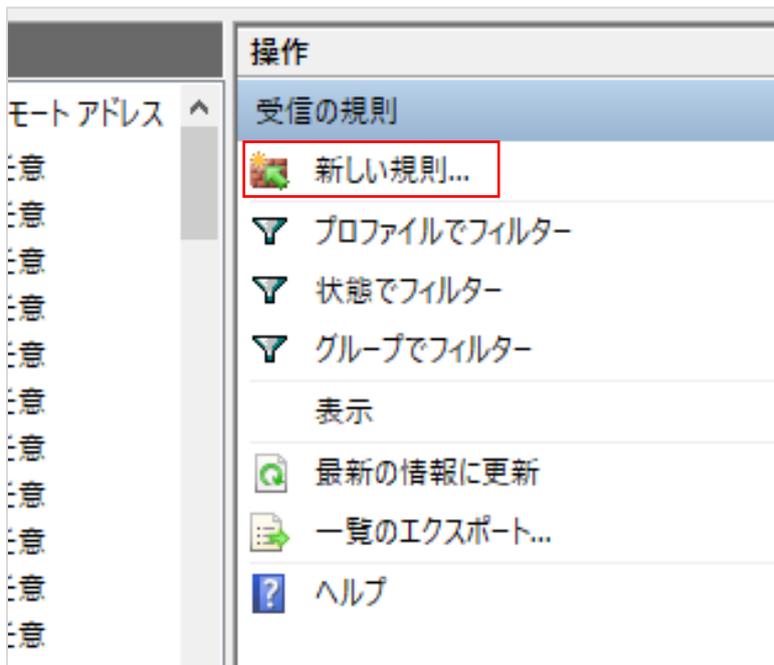
4. 「詳細設定」を選択してください。



5. 「受信の規則」を選択してください。



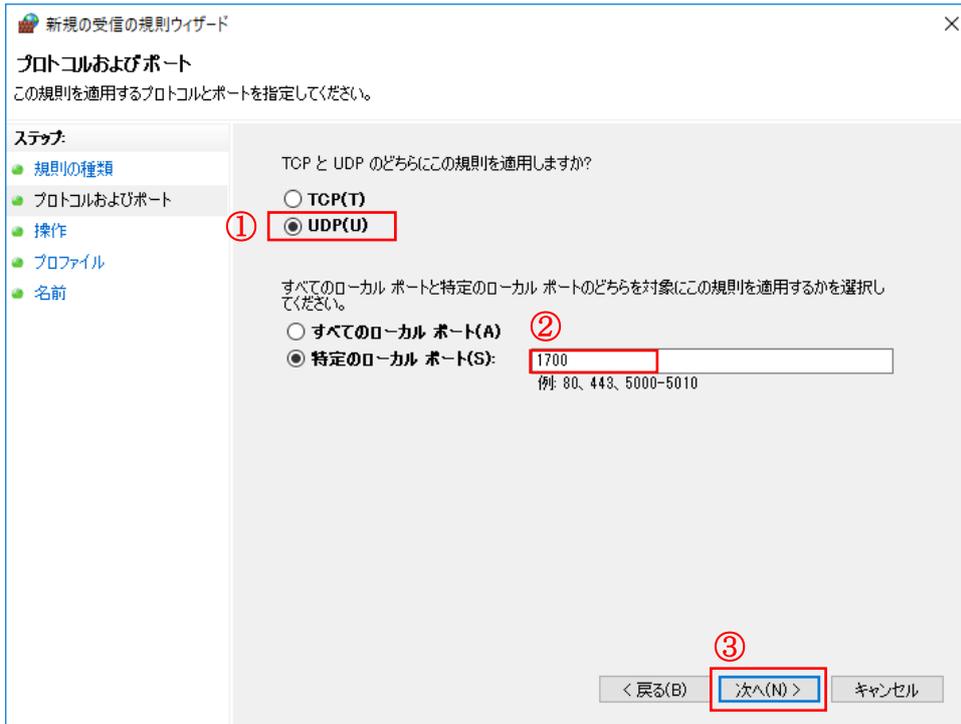
6. 「新しい規則」をクリックしてください。



7. 「新規の受信規則ウィザード」上で、ポートを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



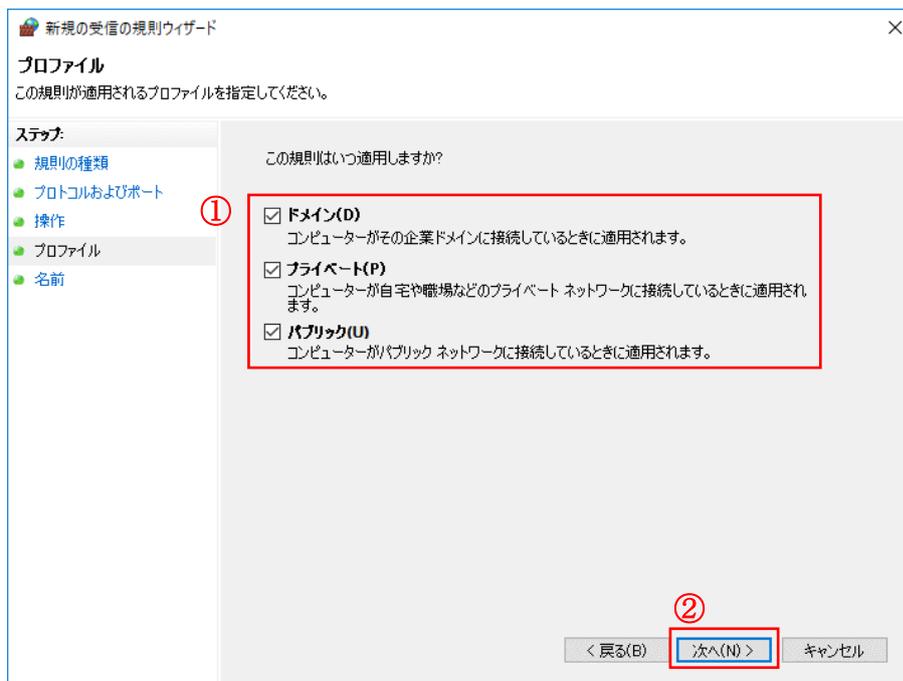
8. 「UDP」を選択し、特定のローカルポートを選択の上、半角文字で「1700」と入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



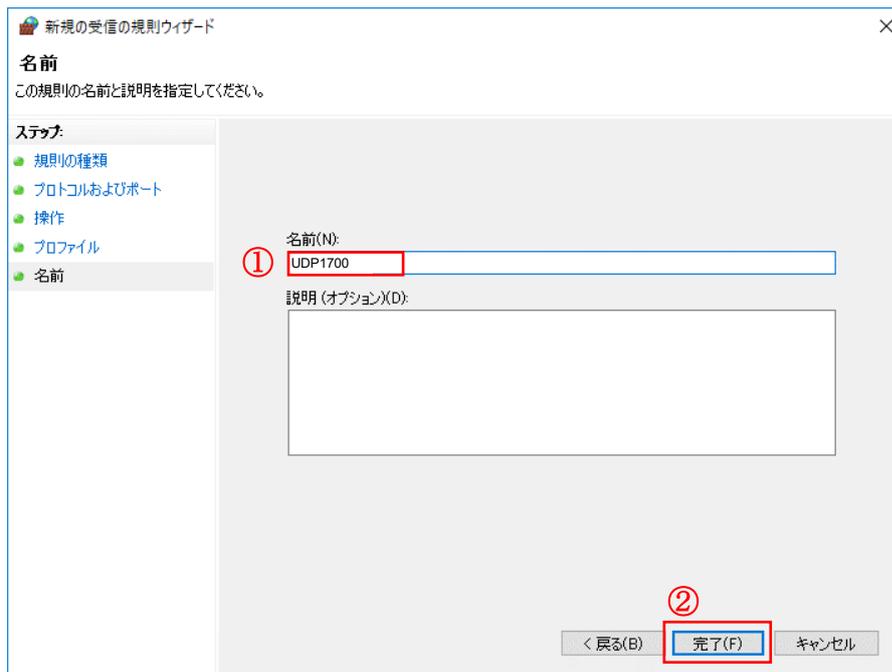
9. 「接続を許可する」を選択の上、「次へ」ボタンをクリックしてください。



10.下記のとおりプロファイルを全て選択の上、「次へ」をクリックしてください。



11.任意の名前を入力の上、「完了」ボタンをクリックしてください。名前は後で変更が可能です。



12.続けて、同様の手順で「UDP、ポート番号：123」、「TCP、ポート番号：9999」についても、開放設定を行ってください。

■時刻自動設定の有効化

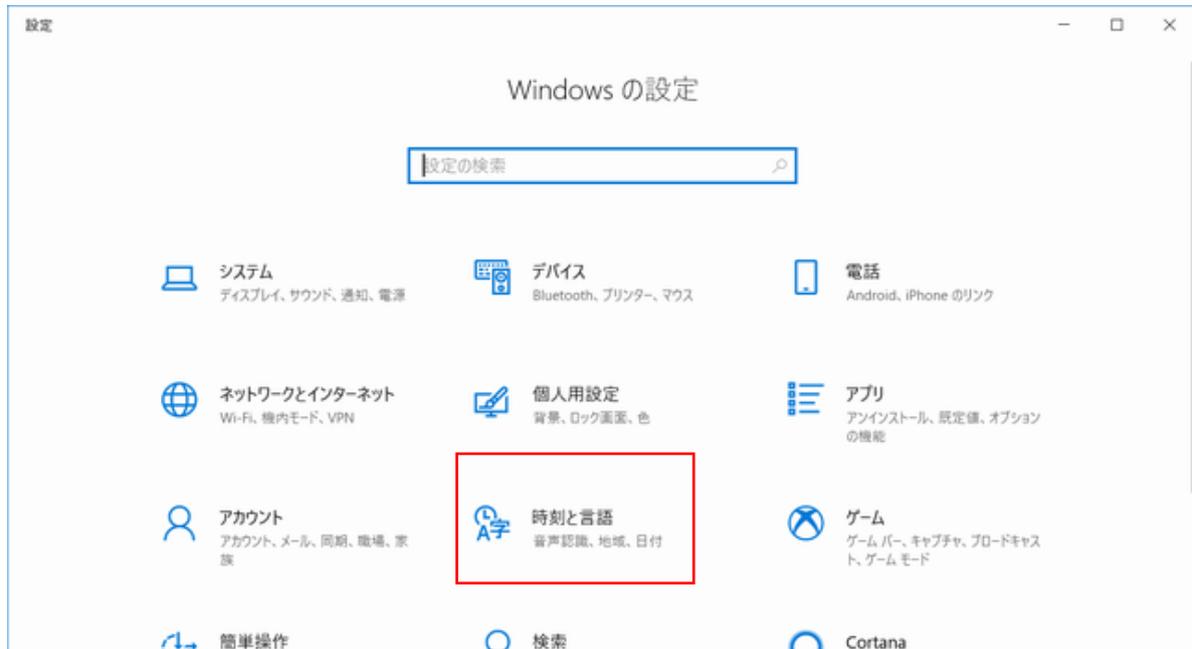
時刻同期のために、Windows の NTP サーバーを有効にします。

「設定」の「日付と時刻」から「時刻を自動的に設定する」を「オン」に設定します。

1. Windows ボタンクリック時に表示される「設定」をクリックしてください。



2. Windows の設定から「時刻と言語」をクリックしてください。



3. 「日付と時刻」の「時刻を自動的に設定する」を「オン」にしてください。

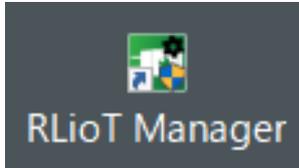


(ご注意) セキュリティソフトが動作している場合、NTP サーバー機能が動作せず、時刻同期出来ないことがあります。その時は、一時的にセキュリティ機能を停止して時刻同期してください。セキュリティソフトの停止方法は、各セキュリティソフトの取扱説明書をご確認ください。

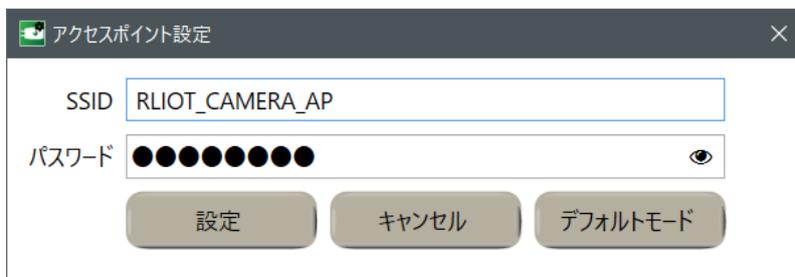
Manager アプリケーションの使い方

起動方法

1. デスクトップにある「RLIoT Manager」のアイコンをダブルクリックしてください。

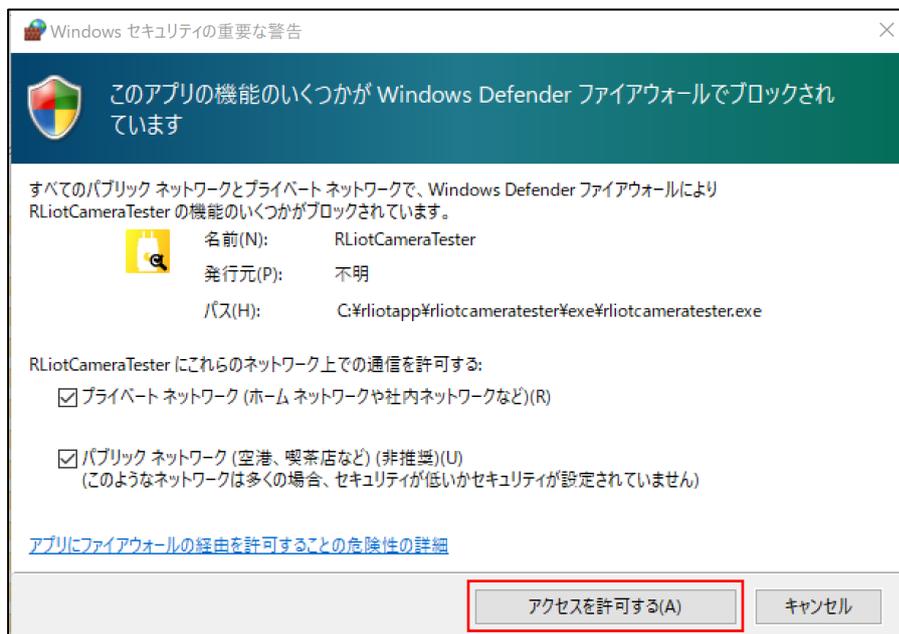


2. アクセスポイント設定画面が表示されます。
PC をアクセスポイントとして使用するため、SSID/パスワードを入力後、設定ボタンをクリックしてください。起動時には、前回使用した SSID/パスワードが表示されます。また、デフォルトモードボタンをクリックすると、出荷状態の SSID/パスワードを使用して、PC をアクセスポイントとして使用する状態になります。
※カメラ設置直後は、デフォルトモードで起動してカメラ側の設定を変更した後、設定ボタンで入力した SSID、パスワードで起動します。

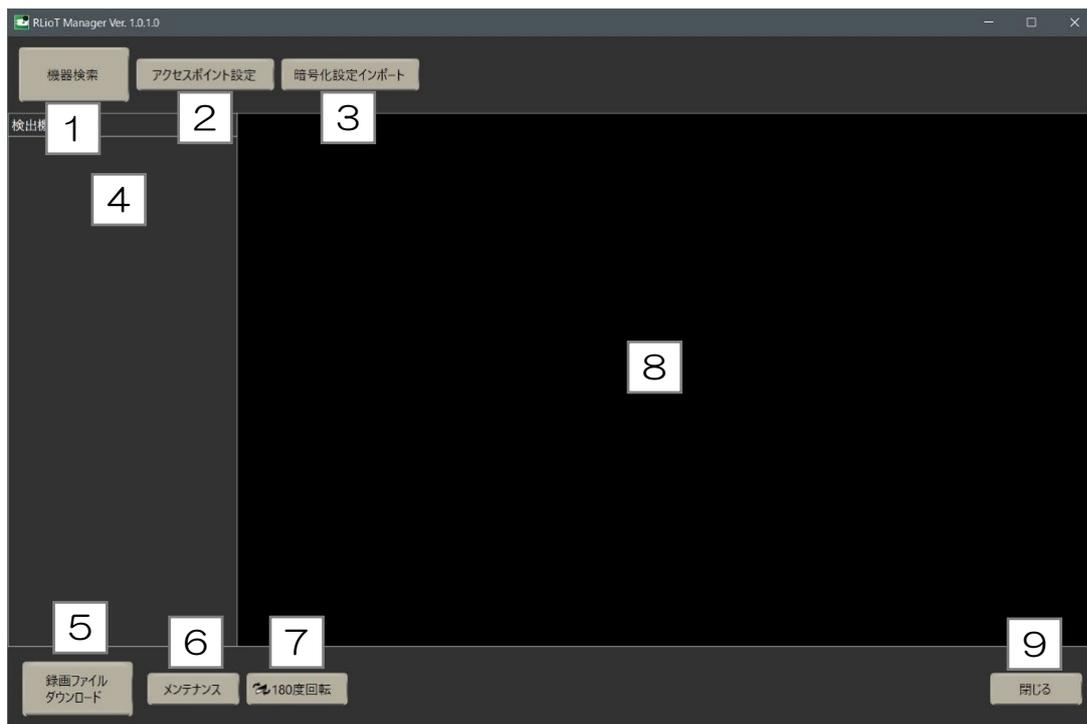


| | |
|------------|-----------------|
| 出荷状態の SSID | RLIOT_CAMERA_AP |
| 出荷状態のパスワード | password |

3. アプリケーションのメイン画面が表示されます。
※初回起動時には、下記のような「Windows セキュリティの重要な警告」が表示されます。全てのチェックボックスにチェックを入れた状態で、「アクセスを許可する」をクリックしてください。



メイン画面



1. 機器検索ボタン
近くにある機器を検索します。
2. アクセスポイント設定ボタン
PCのアクセスポイント用SSIDとパスワードの変更画面を表示します。
3. 暗号化設定インポートボタン
RLiOT Viewerからエクスポートした暗号化設定ファイル(AES.dat)を取り込みます。取り込んだ設定ファイルは、メンテナンス画面の暗号化設定変更ボタンで選択した機器に送信し、録画する際の暗号化設定を変更します。
4. 検出機器一覧
検出された機器一覧を表示します。
複数の機器がある場合は、受信電波強度の強い順に表示されます。

(ご注意) Windowsのモバイルホットスポット機能を使用しますので、同時にリスト表示できる機器は、最大8台までになります。
5. 録画ファイルダウンロードボタン
選択された機器の録画ファイルダウンロード画面を表示します。
6. メンテナンスボタン
選択された機器のメンテナンス画面を表示します。
7. 180度回転ボタン
ボタンを押すと天地逆の画面表示になります。再度押すと元に戻ります。
8. 映像表示エリア
ストリーミング再生映像を表示します。
9. 閉じるボタン
アプリケーションを終了します。

メイン画面の操作手順

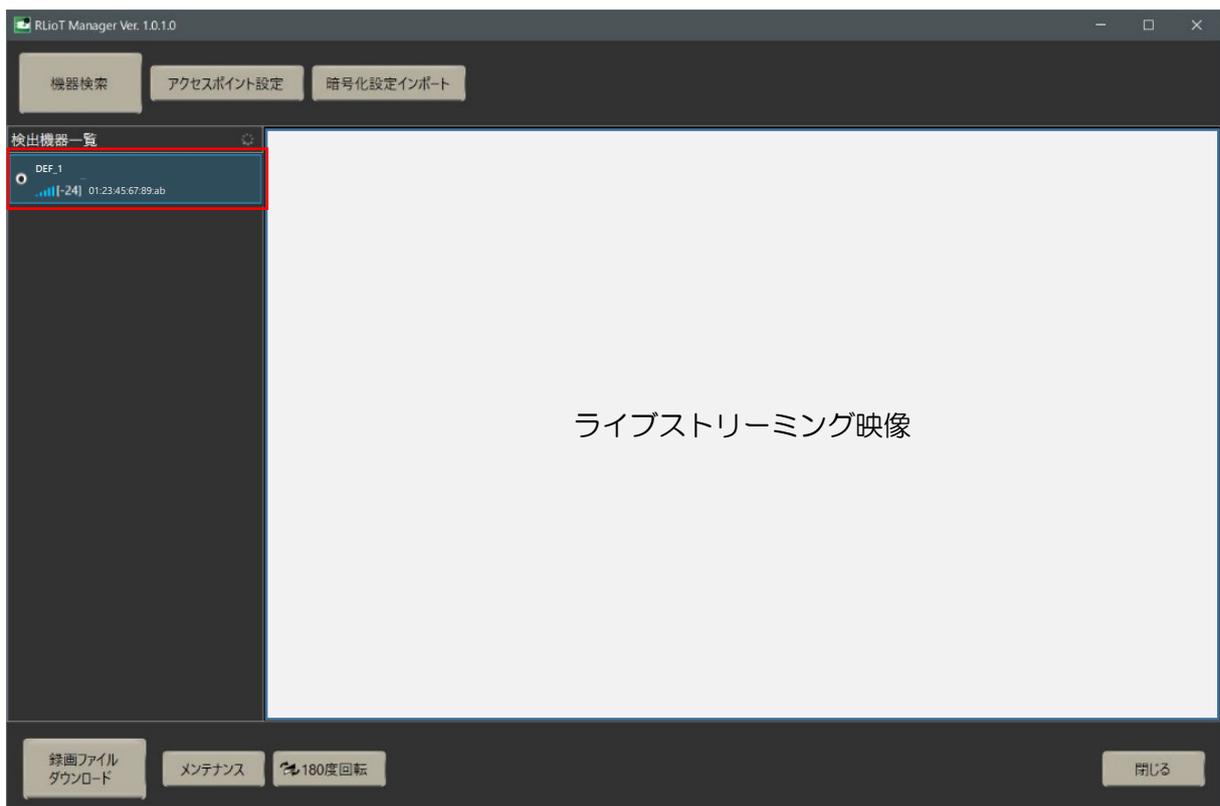
1. 機器検索ボタンを押します。



2. 検出機器一覧に、接続された機器が表示されます。
(機器名、無線 LAN 受信感度、機器の Mac アドレスが表示されます。)



3. 検出機器一覧の機器名をクリックすると、カメラが選択されて映像表示エリアにライブストリーミング映像が表示されます。
ライブストリーミング映像を送信しているカメラは、本体のインジケータが緑点滅 (1 秒に 1 回) します。



メンテナンス画面

The screenshot shows a window titled "メンテナンス" (Maintenance) with a close button (X) in the top right corner. The window contains the following fields and buttons:

- 現在の機器名 (Current Device Name): DEF_1
- 現在のグループ名 (Current Group Name): DEF
- 変更後のグループ名 (New Group Name): DEF
- 変更後の機器番号 (New Device Number): - (dropdown menu)
- 変更後の機器名 (New Device Name): (empty text field)
- 変更後のSSID (New SSID): RLIOT_CAMERA_AP
- 変更後のパスワード (New Password): (password field with 8 dots and an eye icon)
- Buttons: 設定変更 (Change Settings), バージョン表示 (Show Version), 時刻表示 (Show Time), ログ表示 (Show Log), SDカードフォーマット (Format SD Card), 暗号化設定変更 (Change Encryption Settings), 閉じる (Close)

1. 設定変更ボタン

選択された機器の設定変更を行います。

設定変更される項目は、“機器名”、“SSID”、“パスワード”です。

画面中の「変更後のグループ名」、「変更後のSSID」、「変更後のパスワード」を入力し、「変更後の機器番号」を選択して設定変更ボタンをクリックしてください。

設定変更ボタンは正常な値が入力されるまでは、クリックできません。

それぞれの入力値として使用可能な文字数、文字は下記のとおりです。

● 変更後のグループ名

- 入力可能文字数：1～6文字

- 入力可能文字：半角英数字および、! # \$ % & () - ~ @ ` { } _

● 変更後のSSID

- 入力可能文字数：1～32文字

- 入力可能文字：半角英数字および、“_” (アンダースコア)と”-” (ハイフン)

● 変更後のパスワード

- 入力可能文字数：8～63文字

- 入力可能文字：半角英数字および、“_” (アンダースコア)と”-” (ハイフン)

なお、機器名はグループ名、機器番号から決定されます。

※「変更後のグループ名」、「変更後のSSID」、「変更後のパスワード」には、前回入力したものが表示されます。

2. バージョン表示ボタン

機器のファームウェアとアプリケーションのバージョンを表示します。

3. 時刻表示ボタン
現在時刻の表示と、時刻同期を行う画面を表示します。
 - Windows Time：アプリケーションを起動している機器（PC/タブレット）の時刻
 - Device Time：選択された機器のシステム時刻
4. ログ表示ボタン
機器内のログをネットワーク経由で取得、表示、保存します。
5. SDカードフォーマットボタン
選択されている機器のSDカードフォーマットを実行します。
6. 暗号化設定変更ボタン
選択されている機器の暗号化の設定変更を行います。
7. 閉じるボタン
画面を閉じます。

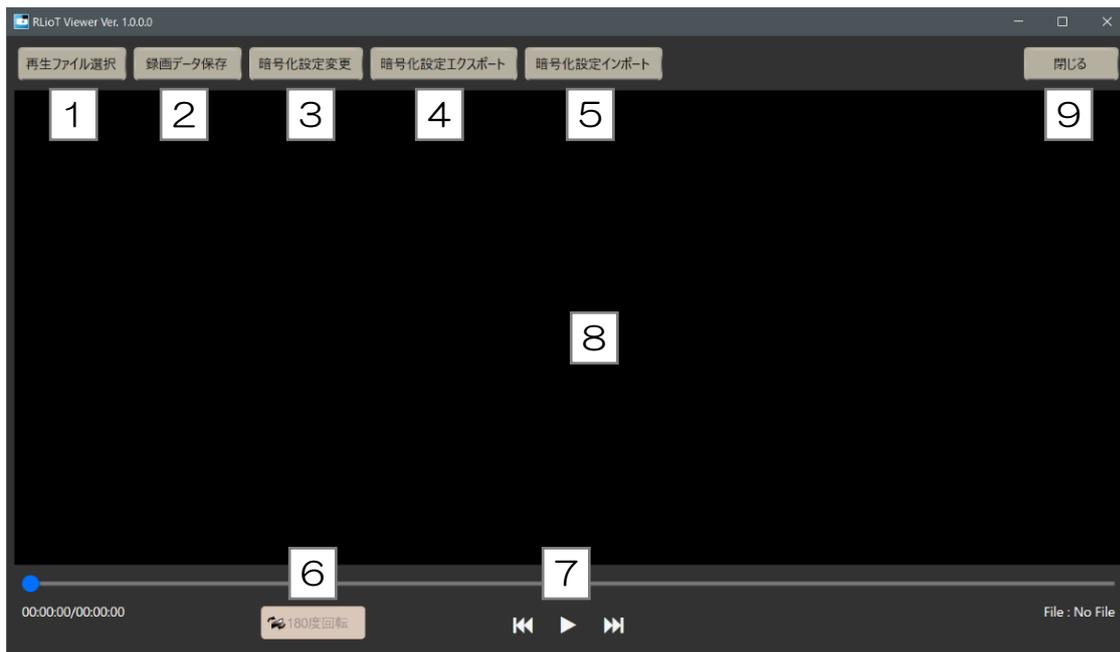
録画ファイルダウンロード画面



1. 機器名
選択されている機器の名称です。
2. ダウンロード実行ボタン
ファイル一覧で選択されたファイルのダウンロードを実行します。
3. 更新ボタン
機器から情報を再取得し、ファイル一覧の更新を行います。
4. 閉じるボタン
画面を閉じます。

Viewer アプリケーションの使い方

メイン画面



1. 再生ファイル選択ボタン
再生する録画（.raw）ファイル、またはMP4 ファイルの選択を行います。
2. 録画データ保存ボタン
録画（.raw）ファイルの暗号を解いて、MP4 ファイルに変換保存する画面を表示します。
3. 暗号化設定変更ボタン
録画（.raw）ファイルの復号に使用する AES 暗号の設定を変更する画面を表示します。
4. 暗号化設定エクスポートボタン
録画（.raw）ファイル暗号化の設定を暗号化設定ファイル（AES.dat）として取り出すためのボタンです。取り出したファイルを RLiOT Manager でインポートして使用します。
5. 暗号化設定インポートボタン
暗号化設定ファイル（AES.dat）を取り込むためのボタンです。
インポートすると、録画（.raw）ファイルの復号の際に使用する設定値が変更されます。
6. 180 度回転ボタン
録画（.raw）ファイル再生中に、ボタンを押すと 180 度回転した画面表示になります。
再度押すと元に戻ります。
180 度回転した状態で録画データ保存すると、180 度回転した MP4 ファイルに変換保存します。
MP4 ファイル再生中は、180 度回転ボタンは無効になります。
7. 操作ボタン
再生ファイルの選択後、動画再生・停止を行います。
8. 映像表示エリア
ファイル再生映像を表示します。
9. 閉じるボタン
アプリケーションを終了します。

録画データ保存画面



1. 録画ファイルフォルダ選択ボタン
録画 (.raw) ファイルが保存されているフォルダを選択します。
2. 参照ボタン
保存先ディレクトリをエクスプローラ上で選択します。
3. 録画データ保存ボタン
リスト内の選択された録画(.raw)ファイルの暗号を解き、時刻を画像に埋め込んでMP4 データに変換して、保存フォルダに保存します。
4. 閉じるボタン
画面を閉じます。

暗号化設定変更画面

The screenshot shows a dialog box titled '暗号化設定変更' (Encryption Settings Change). It contains two text input fields. The first field is labeled '初期化ベクトル' (Initialization Vector) and the second is labeled '暗号化キー' (Encryption Key). Each field has a small eye icon to its right, indicating a visibility toggle. Below the input fields are two buttons: '設定' (Settings) and 'キャンセル' (Cancel).

1. 初期化ベクトル

変更後の初期化ベクトルを入力する箇所です。
入力可能な文字数及び文字は下記のとおりです。

- 入力可能文字数：16 文字（※必ず 16 文字としてください。）
- 入力可能文字：半角英数字および、! # \$ % & () - ~ @ ` { } _

2. 暗号化キー

変更後の暗号化キーを入力する箇所です。
入力可能な文字数及び文字は下記のとおりです。

- 入力可能文字数：16 文字（※必ず 16 文字としてください。）
- 入力可能文字：半角英数字および、! # \$ % & () - ~ @ ` { } _

3. 設定ボタン

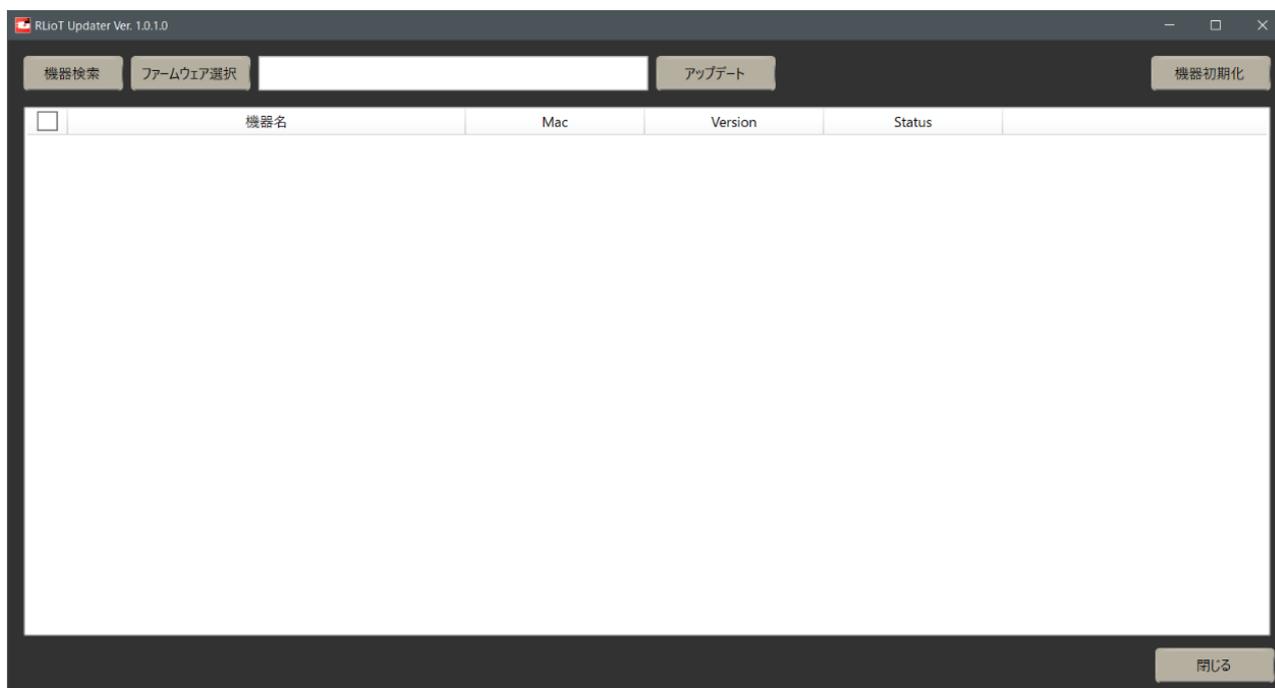
暗号化設定の変更処理を実行します。

4. キャンセルボタン

処理を実行せず、画面を閉じます。

Updater アプリケーションの使い方

メイン画面



1. 機器検索ボタン
近くにある機器を検索します。
2. 接続機器リスト
PC に接続している機器の一覧を表示します。
3. ファームウェア選択ボタン
PC 内のファームウェアファイルを選択します。
4. アップデートボタン
「2.接続機器リスト」から、チェックボックスにより選択された機器に対して、ファームウェアアップデートを実行します。
5. 機器初期化ボタン
「2.接続機器リスト」から、チェックボックスにより選択された機器の“機器名”、“SSID”、“パスワード”を工場出荷設定に戻します。
6. 閉じるボタン
アプリケーションを終了します。

カメラを工場出荷状態に戻すには

1. Updater アプリケーションの「5. 機器初期化ボタン」で、チェックボックスにより選択された機器の“機器名”、“SSID”、“パスワード”を工場出荷設定に戻します。
2. 接続 SSID が分からなくなった場合は、マイクロ SD カードに「初期化用ファイル」を入れて起動させると、SSID とパスワードを工場出荷設定に戻します。
初期化完了後、マイクロ SD カード内の「初期化用ファイル」は自動的に削除されます。

※「初期化用ファイル」の作成方法

Windows のメモ帳アプリを開き、ファイル内に文字を入力せず「reset_ssid_pass.txt」という名称で保存してください。

作成したファイルをマイクロ SD カードのルートディレクトリにコピーしてください。

その他

設定メモ

| | | |
|---------|---------|--|
| SSID | 1~32 文字 | |
| パスワード | 8~63 文字 | |
| 初期化ベクトル | 16 文字 | |
| 暗号化キー | 16 文字 | |

故障かな?と思ったら

| 症状 | 原因 |
|--------------------------------|---|
| インジケータが赤点灯する | <ul style="list-style-type: none"> • マイクロ SD カードは装着されていますか。 • マイクロ SD カードが録画ファイル以外のファイルで一杯になっていませんか。 |
| インジケータが赤 1 回点滅する (1 秒に 1 回) | <ul style="list-style-type: none"> • カメラ部と CPU 間で通信エラーが発生しました。電源を切入して確認をお願いします。 |
| インジケータが赤 1 回点滅する (4 秒に 1 回) | <ul style="list-style-type: none"> • 内蔵時計の時刻が設定されていません。Manager アプリケーションで時刻設定してください。 |
| インジケータが赤 2 回点滅する (1 秒に 2 回) | <ul style="list-style-type: none"> • マイクロ SD カードは装着されていますか。 • マイクロ SD カードはフォーマットされていますか。 |
| インジケータが赤・緑 どちらも点灯しない | <ul style="list-style-type: none"> • 電源 ON から約 40 秒経過後もインジケータが点滅/点灯しない場合は、電源を切入して確認をお願いします。 |
| 機器一覧に機器名が表示されない | <ul style="list-style-type: none"> • 通信状況が悪いためカメラの近くで機器検索をお願いします。 • 接続 SSID/パスワードを変更していませんか。 |
| ライブ再生が止まる | <ul style="list-style-type: none"> • 通信状況が悪いためカメラの近くで再生をお願いします。 |
| 録画ダウンロードが途中で止まる | <ul style="list-style-type: none"> • 通信状況が悪いためカメラの近くでダウンロードをお願いします。 |
| ダウンロードしたファイルが再生できない | <ul style="list-style-type: none"> • 暗号化設定ファイルを変更していませんか。 |
| 時刻が同期できない | <ul style="list-style-type: none"> • PC の時刻自動設定が OFF になっていませんか。 • P.6 からの 動作環境の設定をご覧になり、Windows10 PC または、Windows タブレットの設定を行ってください。 • Windows10 PC または、Windows タブレットで、セキュリティソフトが動作している場合、時刻同期出来ないことがあります。その時は、一時的にセキュリティ機能を停止して、時刻同期してください。 |